参考資料②

オレンジゆずるバス無料乗車イベント（R8.5～6月）の結果について

（１）イベント実施結果の概要　…Ｐ２
（２）イベント利用実態　…Ｐ４
（３）イベント利用者の特徴　…Ｐ７
（４）イベントによる効果　…Ｐ１０
（５）オレンジゆずるバスの課題　…Ｐ１３

（１）イベント実施結果の概要

（１）イベント実施結果の概要

〇令和7年度に引き続き、子ども・親世代への利用促進を図るため、箕面市内在住の小学生を対象に、令和8年5～6月の２か月で無料乗車イベントを実施。

■イベント実施概要

実施対象	箕面市内在住の小学1年生～6年生
実施期間	令和8年5月1日～6月30日
実施方法	〇事前に対象者にオレンジゆずるバスの1日乗車券との無料引換券を配布 〇実施期間中、バス降車時に無料引換券を1日乗車券に引換
ねらい	〇子ども・親世代への利用促進 〇小学生に対するバスの乗り方・利便性の教育（＝モビリティ・マネジメント） 〇効果分析を行い、今後の利用促進策を検討

■イベント実施結果概要

	R8.5～6月	【参考】R8.2月	【参考】R7.8月
無料引換券利用者数	延べ257人	118人	129人
1日あたり利用者数	4.2人	4.2人	4.2人
1日あたり利用者数【休日】	8.4人	10.3人	4.6人
無料引換券利用率	3.1%	1.39%	1.53%
【参考】無料引換券配付人数 ※R8は1人3枚配布	8,287人	8,473人	8,447人

出典）無料引換券アンケート結果

■アンケート調査結果概要

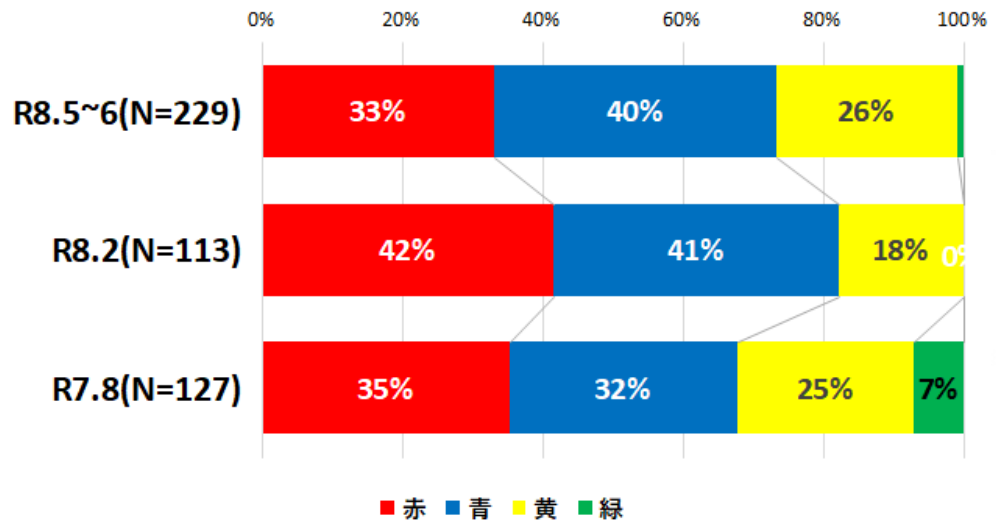
アンケート種類	対象者	質問内容	回答者数		
			R8.5～6月	【参考】R8.2月	【参考】R7.8月
引換券記載アンケート	イベントを利用した児童	①利用ルート ②乗車バス停	231人	113人	129人
Ｗｅｂアンケート	児童の保護者 ※イベント利用の有無不問	イベント利用内容 イベント実施効果 バス利用の課題 等	71人 利用：32人 未利用：39人	123人 利用：45人 未利用：71人 不明：7人	163人 利用：49人 未利用：113人 不明：1人

（２）イベント利用実態

（2）イベント利用実態

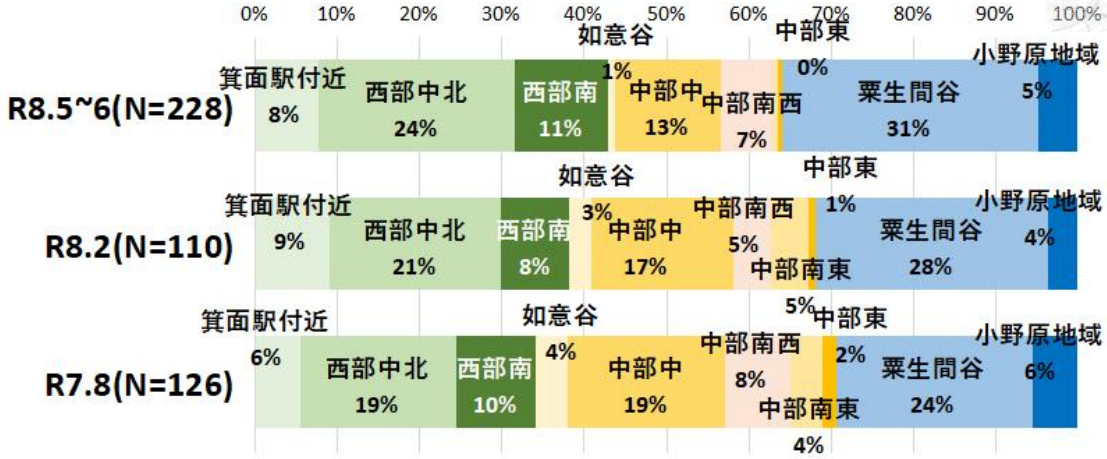
〇利用ルートでは、赤が33%、青が40%、黄が26%であり、青ルートの利用が比較的多い。
〇利用バス停の地域では、西部・東部の利用が比較的多い。

■利用ルート



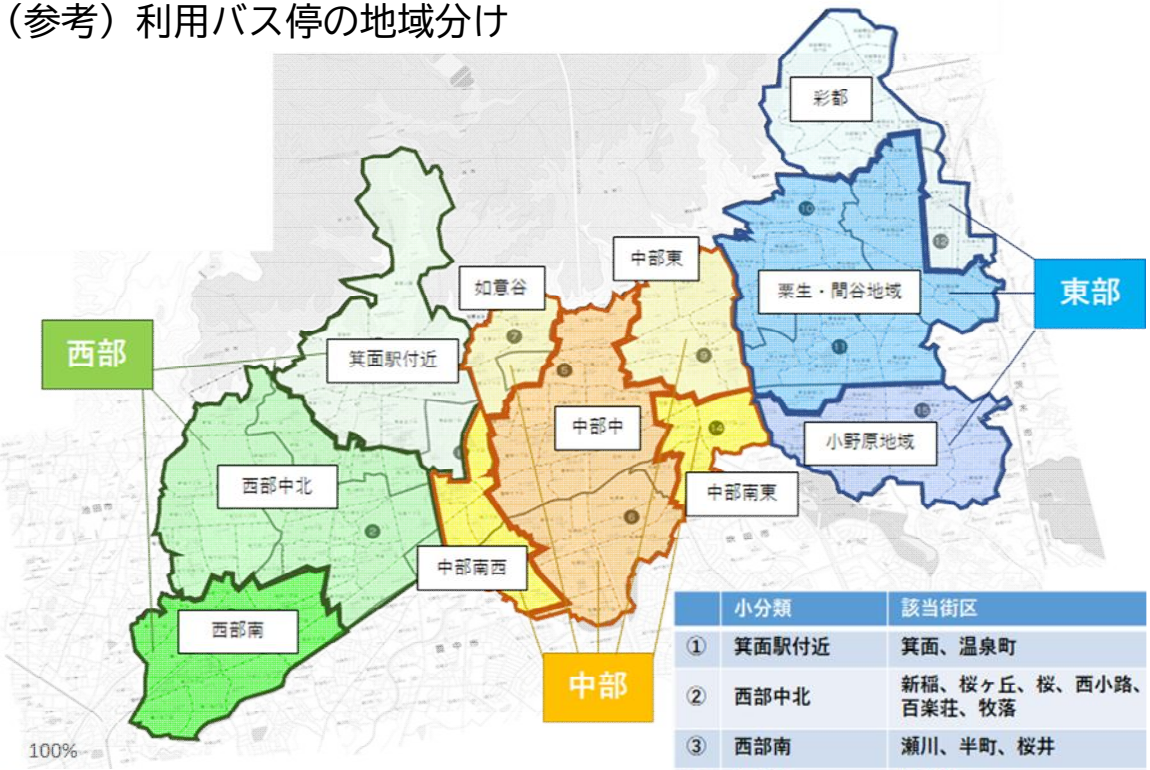
出典）引換券記載アンケート結果

■利用バス停の地域



出典）引換券記載アンケート結果

（参考）利用バス停の地域分け



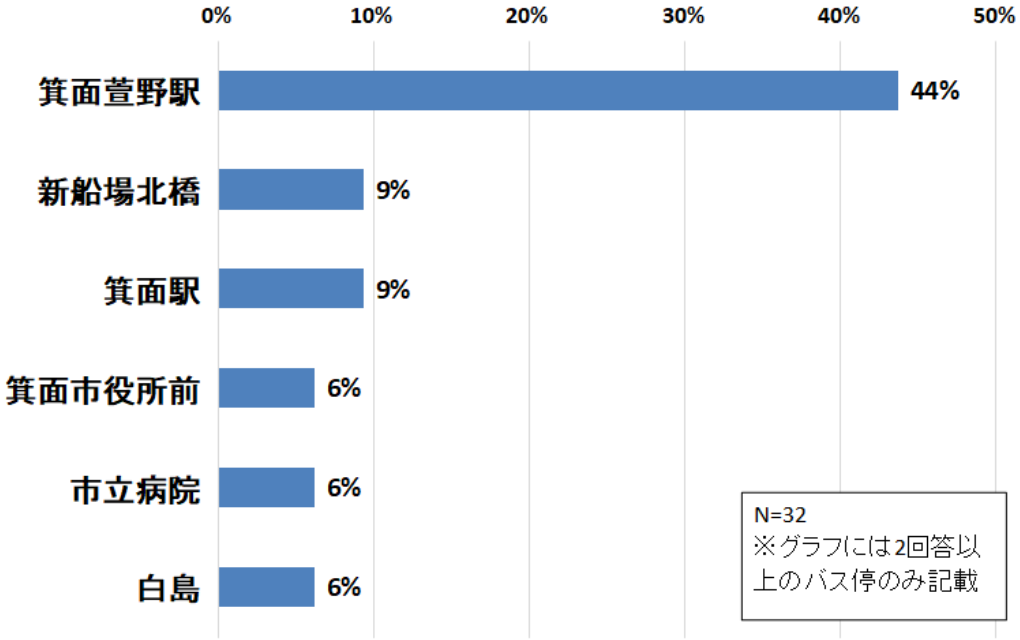
	小分類	該当街区
①	箪面駅付近	箪面、温泉町
②	西部中北	新稲、桜ヶ丘、桜、西小路、百楽荘、牧落
③	西部南	瀬川、半町、桜井
④	如意谷	如意谷
⑤	中部中	坊島、白島、萱野、西宿、船場西、船場東
⑥	中部南西	稲
⑦	中部南東	今宮
⑧	中部東	石丸、外院
⑨	彩都	彩都栗生北、彩都栗生南
⑩	栗生・間谷地域	栗生間谷西、栗生間谷東、栗生新家、栗生外院
⑪	小野原地域	小野原西、小野原東
⑫	北部	北摂全域

※グラフ内の構成比は四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

（2）イベント利用実態

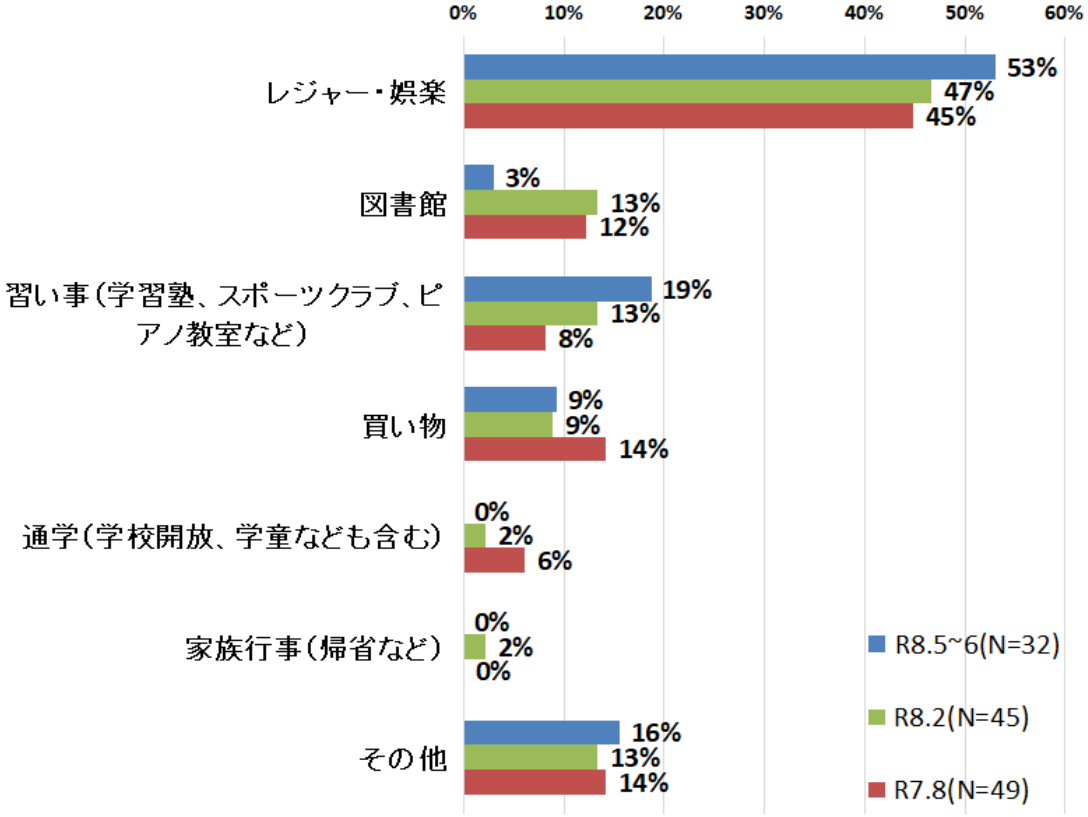
〇降車バス停では、箕面萱野駅が44%と顕著に多い。
〇利用目的では、レジャー・娯楽が53%と一番多く、次いで習い事が19%となり、いずれも利用目的の構成比は過去実施時と比較して増加している。

■降車バス停



出典）Webアンケート結果

■利用目的



出典）Webアンケート結果

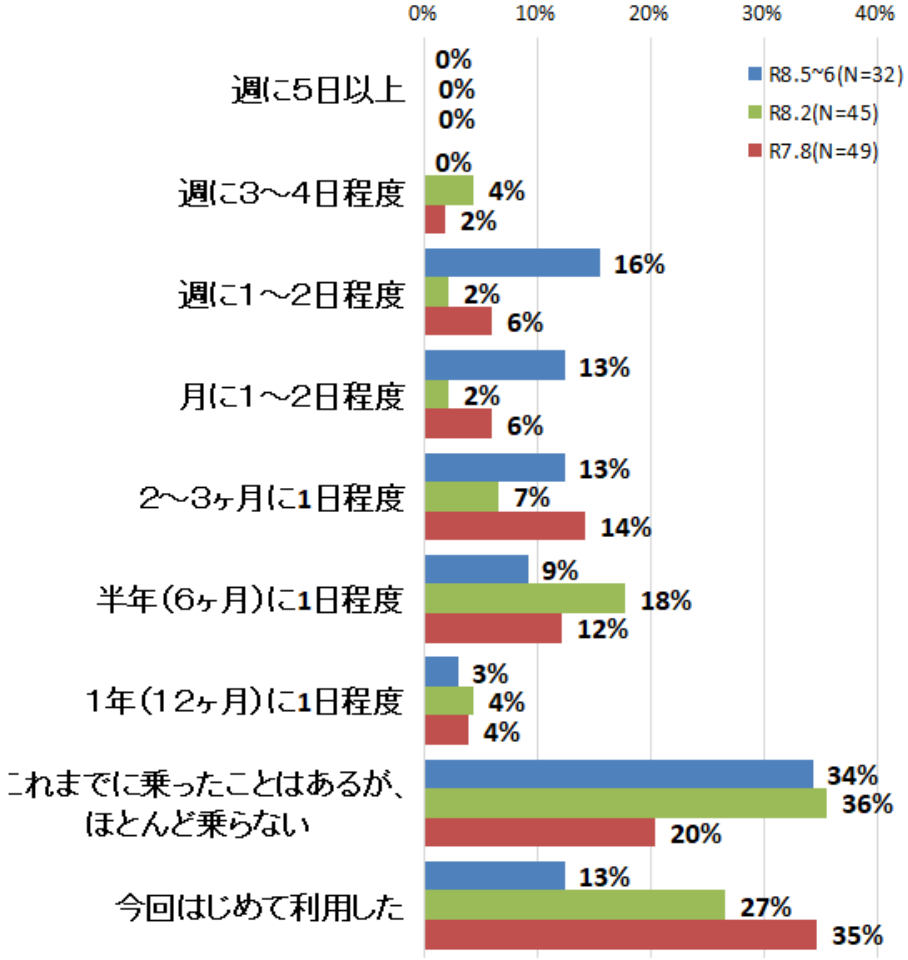
※グラフ内の構成比は四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

（３）イベント利用者の特徴

（3）イベント利用者の特徴

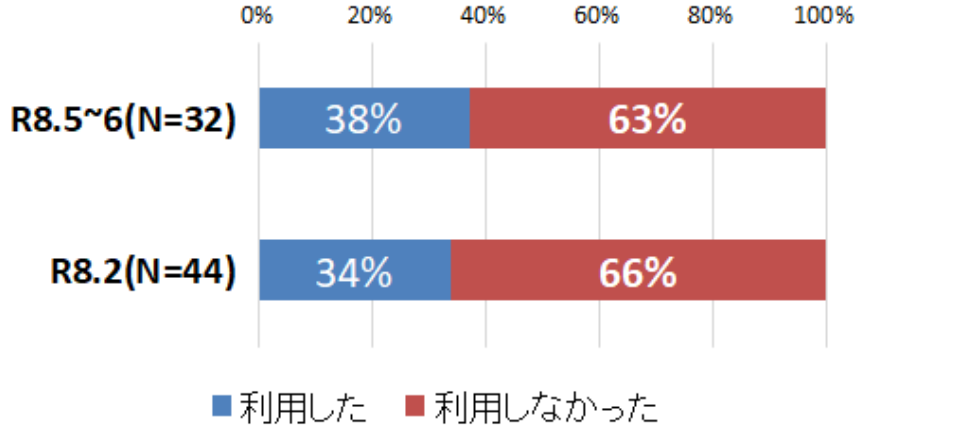
○イベント利用者の普段の利用状況では、普段から利用されているかたの利用も一定あったものの、59%が半年に1日程度以下の利用頻度であり、バスを日常的にご利用いただいていないかたにご利用いただいた。また、利用者のうち、過去のイベントでの未利用者は63%であり、新たな利用機会の創出につながった。
○利用理由では「バスに乗ってみたかったため」の回答が比較的高かった。
○バスを利用いただくためには、まずはバスに乗車する経験をしてもらうことが重要である。本イベントにおいて、利用金額のハードルを下げたことにより、新たな利用につながり、「バスの乗車を経験する」機会を創出できた。

■イベント利用者の普段の利用状況



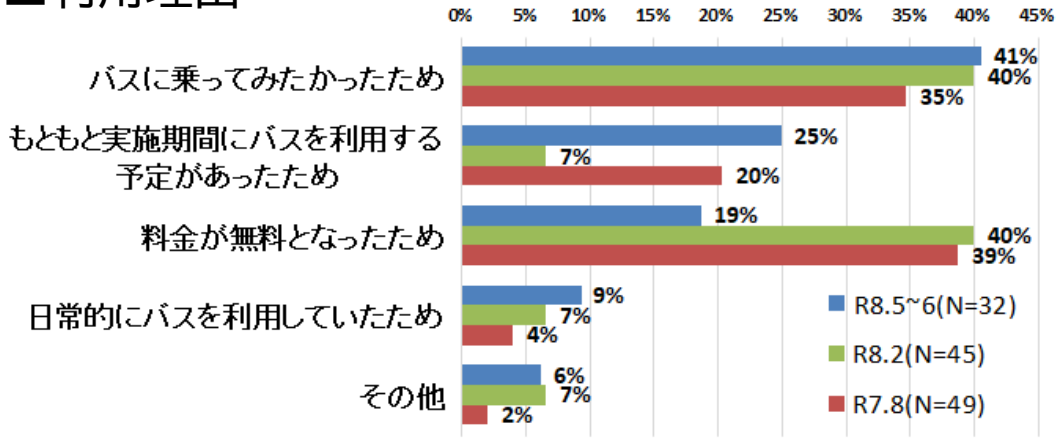
出典）Webアンケート結果

■過去イベントの利用有無（イベント利用者）



出典）Webアンケート結果

■利用理由



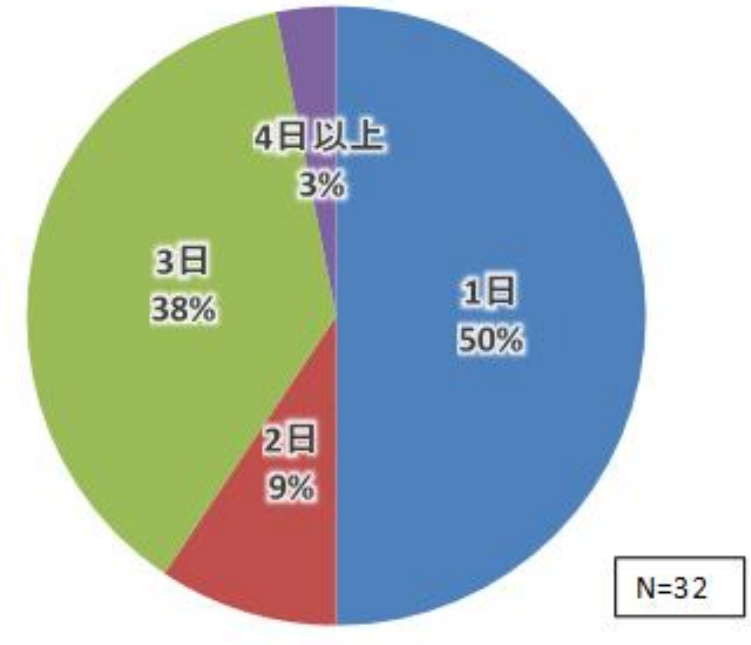
出典）Webアンケート結果

※グラフ内の構成比は四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

（３）イベント利用者の特徴

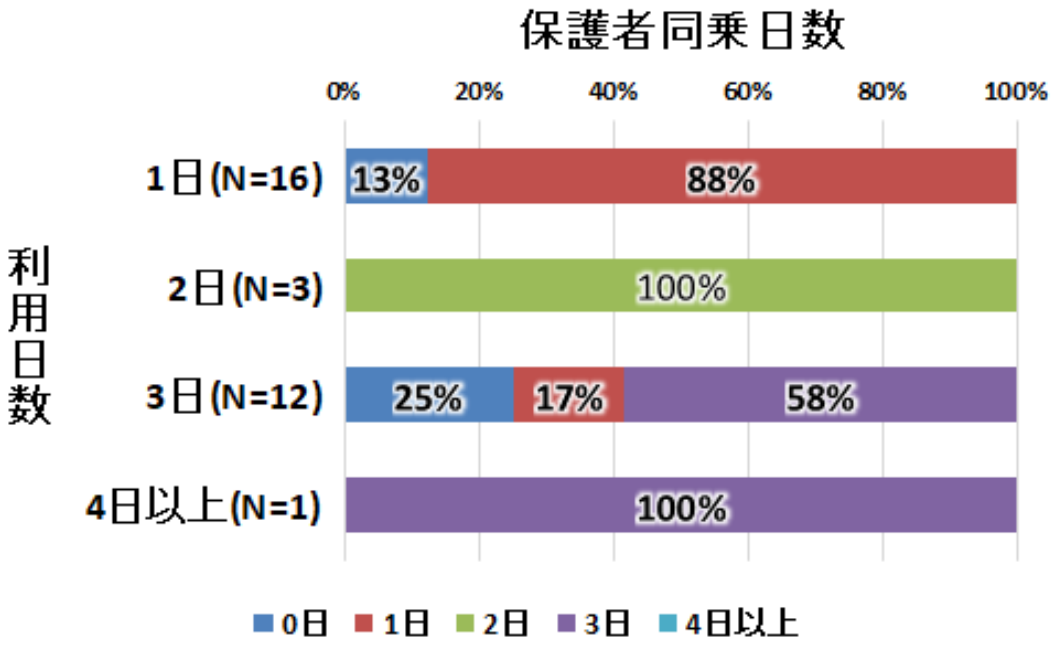
〇利用日数では、半分の利用者が2日以上のリピート利用をしており、38%のかたは配布した無料引換券3枚全てを利用された。
〇リピート利用のかたにおいても、一定保護者と同乗している傾向が見られた。

■利用日数別内訳



出典）Webアンケート結果

■利用日数別の保護者同乗日数内訳



出典）Webアンケート結果

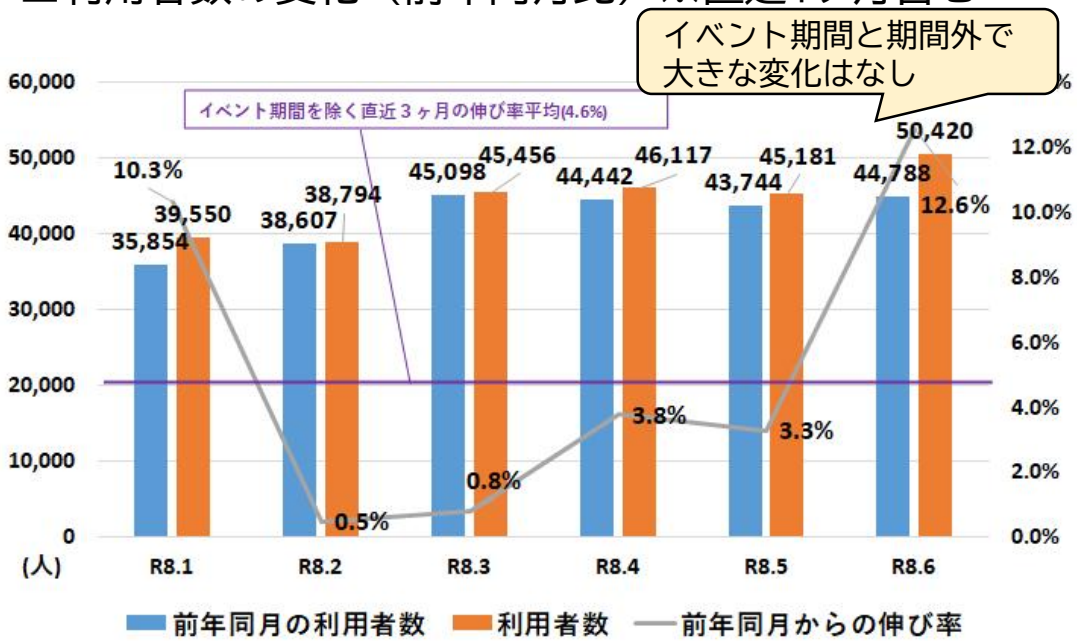
※グラフ内の構成比は四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

（４）イベントによる効果

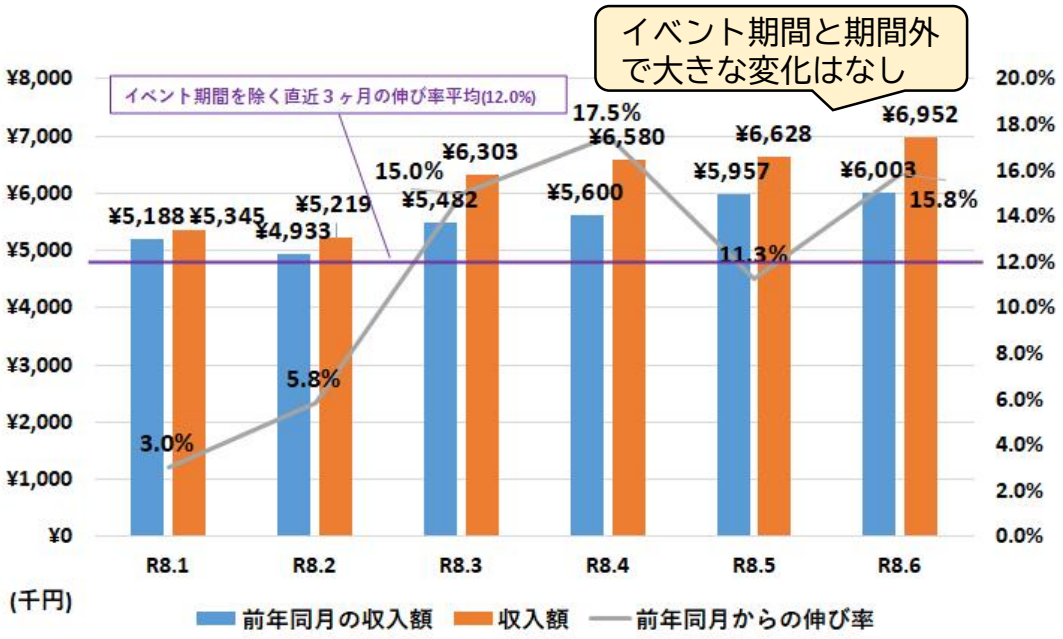
（4）イベントによる効果【利用者数、収入】

〇利用者数と収入額について、いずれも前年同月から増加傾向ではあるものの、イベント期間と期間外で大きな変化はなし。
〇一方で支払い方法別の変化をみると、現金収入額は概ね変化がないのに対し、1日乗車券や高齢者割引が適用されないICカードによる収入額が前年同月から増加。また無料引換券での利用を除く小児の1日乗車券の売上枚数は、イベント期間で顕著に増加。このことから、イベントによって小学生のリピート利用を喚起するとともに、同伴する保護者の利用も増加するなど、有料利用につながった可能性がある

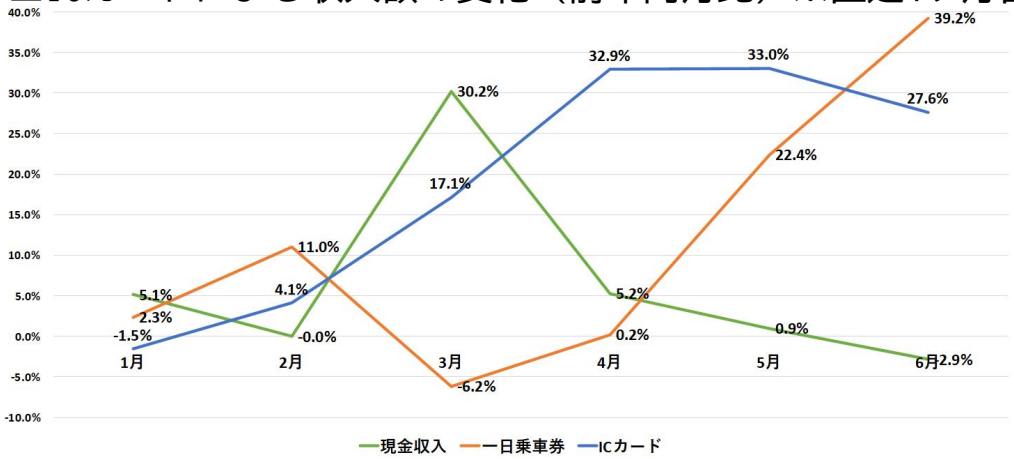
■利用者数の変化（前年同月比）※直近4ヶ月含む



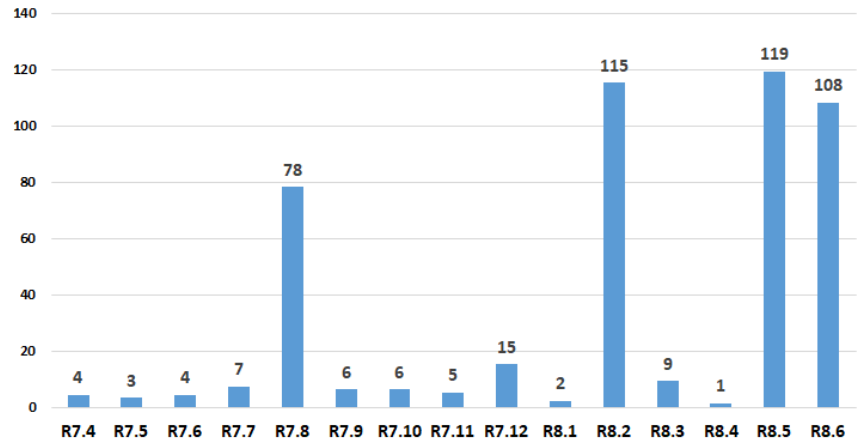
■収入額の変化（前年同月比）※直近4ヶ月含む



■ICカードによる収入額の変化（前年同月比）※直近4ヶ月含む



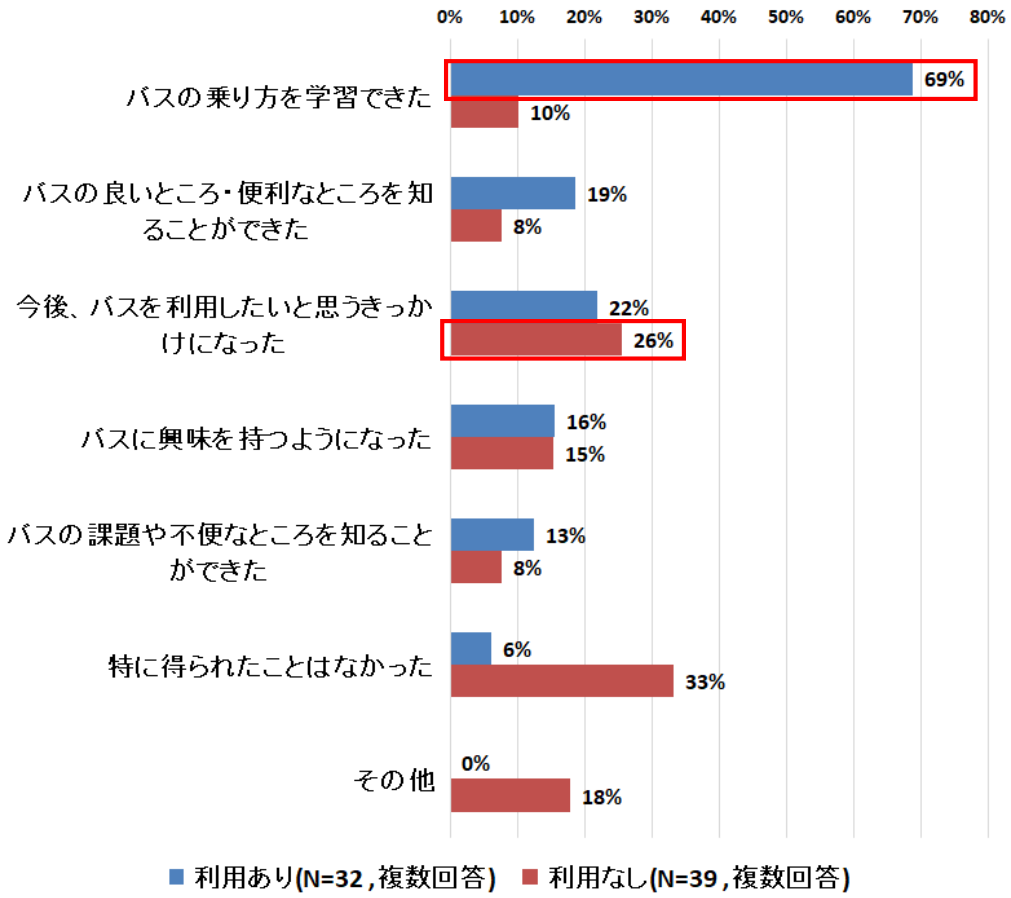
■小児の1日乗車券の売上枚数（無料引換券での利用を除く）



（4）イベントによる効果【モビリティ・マネジメント、利用促進】

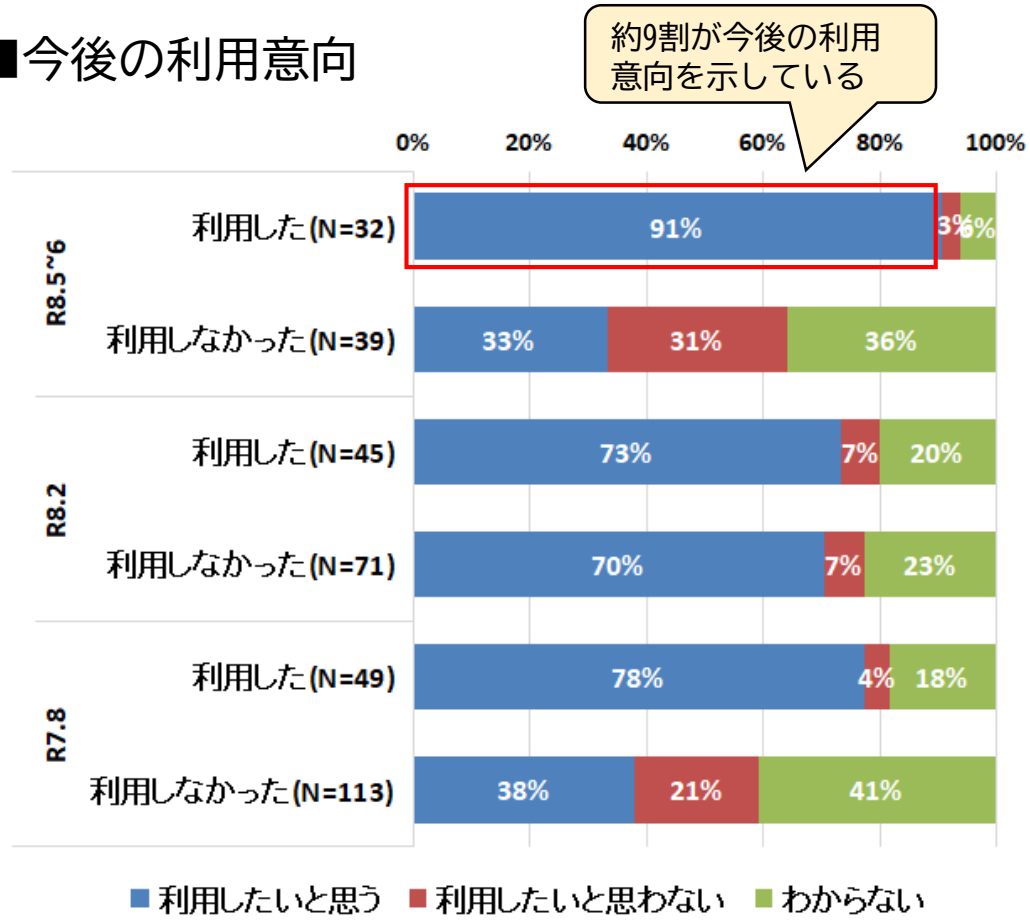
〇イベント開催による効果として、イベント利用者の内、69%のかたが「バスの乗り方を学習できた」と回答しており、モビリティマネジメントに一定寄与したことを確認できた。また利用しなかったかたも、26%が「今後、バスを利用したいと思うきっかけになった」と回答しており、バス利用への姿勢が一定向上したことも確認できた。
〇今後の利用意向としては、イベント利用者の約9割が利用意向を示しており、本イベントにより利用促進が図られていることが一定確認できた。

■イベント実施による効果



出典）Webアンケート結果

■今後の利用意向



出典）Webアンケート結果

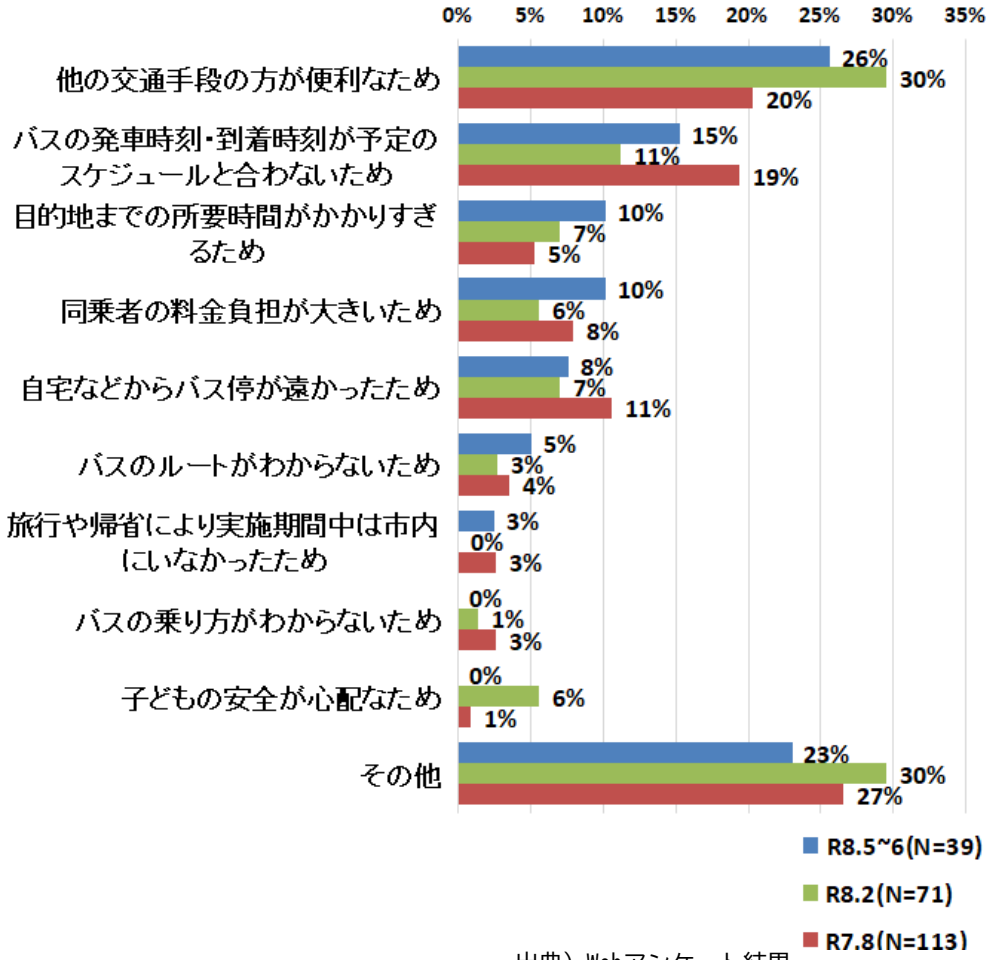
※グラフ内の構成比は四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

（５）オレンジゆずるバスの課題

（５）オレンジゆずるバスの課題

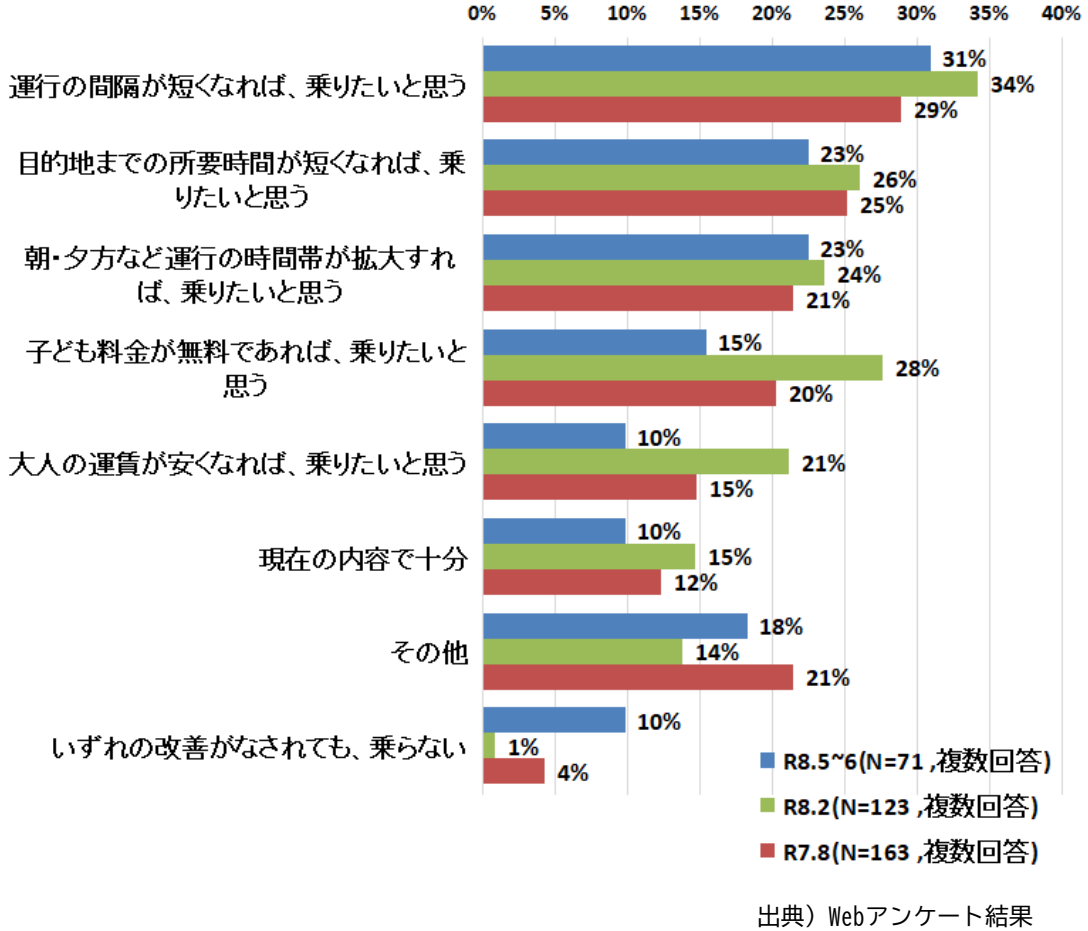
〇イベントを利用しなかった理由では、「他の交通手段の方が便利」「バスの発車時刻・到着時刻が予定のスケジュールと合わない」が比較的高かった。
〇また改善が必要な内容では、「運行間隔の短縮」が31%と比較的高く、「運行頻度」の観点でオレンジゆずるバスに課題を感じられている。一方で、「子ども料金の無料化」の回答割合は減少しており、子ども料金が利用への大きな障壁とはなっていないことが考えられる。

■利用しなかった理由



出典）Webアンケート結果

■どのような改善があれば、より利用したいと思うか



出典）Webアンケート結果

※グラフ内の構成比は四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。